

平成 29 年度 学校目標

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		
			具体的な方策	評価の観点	
1	教育課程 学習指導	<p>特色ある外国語教育と国際理解教育を実践し、国際的視野を持った人材を育成する。</p> <p>「思考力・判断力・表現力」を育成する授業を目指し、授業改善を実施する。</p> <p>基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>これまで積み上げてきた特色ある外国語教育と国際理解教育を学校全体の取組として実践していく。</p> <p>アクティブラーニングに関する理解を深め、生徒による活発な言語活動が展開される活気あふれる授業を目指して、授業改善を推進する。</p> <p>生徒が主体的に学習に取り組む態度を養い、学習習慣の確立を図る。</p>	<p>実用英語技能検定に加えて新たにGTECを導入し生徒の学習意欲の啓発を図るとともに、生徒の英語力の伸長の度合いや授業改善の取組の成果を定点観測する指標とする。</p> <p>・英語宿泊研修のあり方について再検討する。</p> <p>・韓国ドンウォン高校の訪問受け入れ及び米国アサトン高校への訪問を実施し、諸外国のユネスコスクールと交流を深めるなどして国際交流を全校で実践する。</p> <p>アクティブラーニングについての校内学習会を開催し、授業改善を推進する。</p> <p>朝学習について、生徒が積極的に取り組むよう工夫し、継続的に実施する。</p> <p>・課業日及び長期休業中の補習・講習を実施する。</p>	<p>新たな検定試験を実施したか。</p> <p>・英語宿泊研修継続の課題を把握しその対策を検討したか。</p> <p>・姉妹校との交流を深めることができたか。</p> <p>アクティブラーニングについて職員・生徒の理解が深まり、授業改善が図れたか。</p> <p>生徒が積極的に取り組むよう朝学習の課題内容などを工夫・改善できたか。</p> <p>生徒の取組の様子が向上したか。</p> <p>・補習・講習を実施することができたか。</p>
2	生徒指導 ・支援	<p>部活動の活性化を進める。</p> <p>交通安全指導を通してマナーの向上と事故防止に取り組む。</p> <p>人権尊重の精神を養う。</p> <p>生徒の個に応じた教育相談体制を確立する。</p>	<p>積極的な部活動が推進できるように指導体制を整えるとともに、予算や、活動場所の支援を行う。</p> <p>自転車乗車ルールの徹底を図り、事故防止を目指した交通安全指導を充実させる。</p> <p>スマホ使用をめぐるトラブル防止の指導に力を入れ、安全で安心な学校づくりに努める。</p> <p>職員の気づきの力や対応力を高め、協働支援体制によって情報を迅速に共有するとともに関係機関と連携し適切な支援が行えるよう努める。</p>	<p>学校行事とともに、部活動を「人間関係力」や「挑戦するマインド」を育てる重要な教育活動ととらえ、生徒主体の活気ある部活動の実現を目指す。当初の入部率が高まるよう、より一層の工夫を行うとともに、途中退部する生徒を減らすように努める。</p> <p>毎朝の校門指導で、挨拶や自転車乗車ルールについて指導する。</p> <p>また、交通安全教室に加え、年5回通学路安全指導を実施する。</p> <p>スマホ使用の正しいマナーを全職員で指導する。全校講話やSNSトラブル防止研修会を開催する。</p> <p>月1回のミニ研修で特別支援や不登校対応について全職員の共通理解を図る。また、スクールカウンセラーとの連携に加え、年2回の要請訪問相談を実施し、必要な関係機関につなぐ。</p>	<p>部活動の加入率を高め、退部率を下げ、全体の活性化が図れたか。</p> <p>乗車マナーの向上を図り、交通事故や苦情を減らすことができたか。</p> <p>スマホをめぐるトラブル件数を減らし、授業規律を高めることができたか。</p> <p>特別支援や不登校対応についての基礎的な知識を身につけ共通理解が図れたか。必要な関係機関と連携し、生徒および保護者に適切な支援が出来たか。</p>

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
3	進路指導 ・支援	<p>一般受験の比率を上げるなど、生徒がより高いレベルを目指して第一志望を設定し、進路実現を果たすことができるよう支援する。</p> <p>一人ひとりの希望に合った支援を行うために、相談体制の充実を図る。</p>	<p>「行ける大学より行きたい大学へ」という生徒の意識変革を実行し、全力で勉学に取り組み自らの進路を切り拓こうという挑戦の意識を高める。一般受験に対応できる学力を身につけさせるためのカリキュラムや支援体制について教務情報Gの研究開発担当と連携して継続的に検討する。</p> <p>学年や時期に応じて生徒・保護者向けのガイダンスを実施する。</p>	<p>校外模試を活用することの有効性を生徒・保護者に広報し、積極的な参加を呼びかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・模試実施後の結果報告会で、生徒の学力やつまづきのポイントを把握し進路指導に活用する。 ・大学見学会、外部講師による講演会を実施し進路実現に向けたきめ細かい情報提供に努めるとともに、意識の向上を図る。 <p>個人面談を年2回、保護者面談を年1回開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種説明会を保護者に開放し、生徒・保護者・担任教諭三者の共通理解を深め、きめ細やかな指導を展開する。 	<p>「一般受験」受験者の比率が5割を超えたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部教育機関による報告会が適切な時期に実施できたか。 ・生徒の意識の変革を起こしたか。 <p>個人面談2回、保護者面談1回を実施できたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種説明会への保護者の参加はあったか。
4	地域等との協働	<p>HPを活用して学校行事など本校の教育活動を地域に広報し、理解を深めてもらうとともに地域に貢献できる本校の役割を研究する。</p> <p>海老名市や地元自治会などと連携し、災害への備え・対応を徹底する。</p>	<p>本校の教育活動を広く発信し、地域との連携・協働活動を進めていく。</p> <p>シェイクアウト訓練やD I Gなど様々な防災教育活動を通して、生徒の「自助・共助」の意識を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災意識を高め、地域と連携して地震・洪水等大規模災害発生時の避難体制を整備する。 	<p>地域が求める情報を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生へのHPなどでの広報活動を強化する。進路選択に向けて最新の情報を提供し、引き続き選ばれる高校を目指して、更新を迅速にする。 ・地元の小中学校などとの連携活動を通じて、生徒一人ひとりが社会の中での役割と責任を果たせる機会を増やす。 <p>機会あるごとに防災を意識させるとともに、地域と連携した防災計画を策定し、協働して防災訓練を実施する。</p>	<p>地域や中学生、保護者が必要とする情報を、適時に発信できたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回以上新情報に更新できたか。 ・地域の教育機関等との連携ができたか。 <p>地域と連携した防災計画を策定できたか。また、協働して防災訓練を実施できたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>I T環境の整備改善を推進する。</p> <p>個人情報及び行政文書の適切な管理を推進する。</p> <p>学びを支え、快適で安心・安全な教育環境の整備に努めるとともに、事故・不祥事防止の徹底を図る。</p>	<p>I C Tを活用した授業ができる環境を整える。</p> <p>個人情報の対策重要度分類表及び行政文書管理規則に則った適切な文書管理を実施する。</p> <p>生徒が安全かつ快適に学校生活を送ることができる校内環境を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報管理や財務関係の事故防止、安全管理に努める。 ・調査書等の発出文書のミスを根絶する。 ・引き続き入選事故のゼロを目指す。 	<p>タブレット、書画カメラなどを授業で活用するための使い方を研修会などで周知し、また利用しやすい管理体制を整える。</p> <p>個人情報の取り扱いについての理解を徹底するとともに、管理簿や持ち出し許可願いなどを整えて適切に運用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起案を始めとする行政文書の適切なファイリングや施錠管理、および文書の引継ぎを徹底する。 ・引出等の鍵を整備する。 <p>校内各箇所を再点検し、必要に応じて安全対策を講じ、快適な学習・生活環境の維持に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私費会計の手引きを策定し事故防止に資する。 ・業務全般において、「ほう・れん・そう」および「確認・点検」を徹底し、事故・不祥事のない校務運営に努める。 	<p>I C Tの活用方法を周知し、利用率が高まったか。</p> <p>個人情報の紛失など不適切な事案がなかったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループの起案などの行政文書が適切に管理され、利用され、次担当へ引き継がれたか。 <p>生徒への安全対策が適切であったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故防止の観点に立って、県費・私費や個人情報が適切に取り扱えたか。 ・発出文書にミスは無かったか。 ・入選事故は無かったか。